

施 策 カ ル テ

1 施策の位置付け


担当課 公園緑地課

総合計画 政策の柱	市民の快適な暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	良好な水と緑の環境を創出する	取組の 基本方向	「良好な水と緑の環境を創出する」ため、河川の治水対策や水辺に親しめる環境づくりを進めるための「快適な河川環境の創出」、自然に対する意識を高めるための「自然環境保全の推進」、限りある緑を守り、育てるための「緑の保全・育成」に、重点的に取り組みます。	政策目標 (基本施策目標)	市民が身近に自然と親しめる良好な水と緑の環境が創出され、自然との共生が深まっています。
--------------	------------------	----------------	----------------	-------------	---	------------------	---

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

施策名	緑の保全・育成						達成状況	施策指標(単位)						達成率 (%)	
	市民・事業者の主体的な活動により、都市の緑化や樹林地の保全が図られています。							H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標		
施策目標	市民・事業者の主体的な活動により、都市の緑化や樹林地の保全が図られています。						本市の骨格となる緑については、一定の保全効果が得られており、また、市民活動も徐々に活発になってきているが、目標値に達していないことから、今後も継続的な取り組みが必要である。 ヒートアイランド現象など環境問題への市民の関心やガーデニングブームなど、緑化意識も高まっている。また、震災時においては火災の延焼を防止し、一時避難場所としても機能するなど市街地に残る緑の役割・必要性は、より高まっている。 概ね目標は達成しているが、より効率的な事業の展開を図るため、緑化や緑地保全のための手法の一部見直しや、都市緑地法、景観法などに基づく制度活用を検討する必要がある。 市民・事業者のボランティア活動が広がりを見せるなど、十分な効果を挙げているが、市街地の緑化など市民が身近に親しめる緑の創出に関する取り組みについては、今後、強化を図る必要がある。	---	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	---	
施策を 取巻く 環境	都市緑化や樹林地の保全には既存制度の活用を図り、地権者や緑地保全・緑化推進のボランティアへの助成・支援を行うとともに、日常的な緑に対する普及啓発や市民意識の醸成を図ってきたが、地球環境問題や都市緑化に対する関心が高まっていることから、市民協働による緑化活動や保全活動を支える体制の充実により、さらなる市民活動の促進や新たな保全手法の検討が必要とされている。							(財)グリーントラストつのみや緑地保全活動 参加人数(人)	---	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	---
									2821	2,125					60.7%
市民の 施策満足度	34.6%	施策の 評価	達成度 (単年度目標)	達成している (90%以上)	概ね達成 (70%~90%未満)	達成していない (70%未満)	説明	現状 課題 抽出	都市に残された緑は自然資源として極めて重要であり、水と緑のネットワークの形成については一定の効果が得られている。 市内の緑の多くは民有地であり、これらの緑を守り育てていくためには、新たな制度導入の検討とともに、市民や事業者の理解、協力など、より一層市民や地域との連携が必要とされている。						
市民の 施策重要度	77.5%		必要性 (住民・社会ニーズ)	増加している	横ばい	減少している	説明								
			効率性 (事務事業の進捗)	十分である	不十分な事業が 一部ある	不十分な事業が 複数ある	説明								
			有効性 (政策目標への効果)	十分である	やや不十分である	不十分である	説明								

3 今後の取組方針

取組の 考え方	本市の水と緑のネットワークの形成については、鶴田沼緑地や戸祭山緑地の都市緑地としての公有地化や、長岡樹林地での保全活動を行い、その結果、市街地区域内及びその隣接地において大規模な緑地が確保されるなど、一定の成果を上げることができた。今後は、市街地の過半を占める民有地の緑化を推進するため、市民意識の向上を図るための普及啓発や公共施設における先駆的、先導的な緑化に努める。 さらに、目標達成のため、市民や事業者への意識啓発を図るとともに、「都市の景観形成」や「自然環境の連続性」などを考慮しながら、既存制度の活用や一部見直し、新たな制度の導入、地権者をもとより周辺住民の協力による地域グループの育成や活動支援、積極的な情報提供を行うとともに、市民との協働による緑化活動や保全活動の仕組みづくりに取り組んでいく。		政策評価 会議意見	水と緑のネットワークの形成については、都市緑地の公有地化とともに、里山樹林地における土地所有者や管理団体と連携した保全に取り組み、その結果、大規模な緑地が確保されるなど、一定の成果を上げているところである。今後は、市街地の過半を占める民有地の緑化を推進するため、既存制度の活用や、新たな制度導入の検討、さらなる市民意識の向上、土地所有者、管理団体、地域住民への積極的な活動支援、情報提供などを行い、市民協働による緑化活動や保全活動の仕組みづくりに取り組むこと。
------------	---	--	--------------	--

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名		対象者	開始年度	活動指標等	H19	H20	H19	H20	優先度	事業の方向性	施策目標を達成するための取組方針
						目標値	目標値	事業費	事業費			
						実績値	実績値	(千円)	(千円)			
1	緑の基本計画の改定		市民・事業者・行政	H20	市民ニーズ把握回数(アンケート・懇談会・パブリックコメント等)	-	2	0	2,919	A	新規	緑の保全・育成を目的として策定する(仮称)第2次宇都宮市緑の基本計画を実効性のあるものとするために、アンケートや懇談会等を通じ市民の意見を十分把握ながら計画づくりを進める。
	担当課	公園緑地課				-	2					
2	都市緑地の保全		市民	H元	用地取得面積(ha)(累計)	19.0	19.0	480,983	0	A	継続	市街地区域内に残された貴重な自然環境である戸祭山緑地・鶴田沼緑地などの都市緑地の保全は、着実に用地取得が進み、市民による緑地保全活動も活発になっている。今後も市民のみどりに対する意識を高める効果が高く、水と緑のネットワークの形成に重要な事業であることから、今後も継続していく。
	担当課	公園緑地課				19.0	19.0					
3	里山・樹林地の保全		市民	H16	長岡樹林地ワーキンググループ活動回数(回)	80	80	0	0	A	継続	モデルケースである長岡樹林地について、地権者と良好な関係を構築しながら、今後も緑の保全について理解を得られるよう努めていくとともに、法制度に基づく保全や「とちぎの元気な森づくり県民税」の活用など、様々な保全手法の検討を行う。また、グリーントラスト活動を支える事務局やボランティアに対して必要な支援を積極的に継続して実施する。
	担当課	公園緑地課				69	65					
4	(財)グリーントラストつのみや運動促進費補助金		(財)グリーントラストつのみや	H3	グリーントラスト会員数(人)	1,750	1,800	5,706	5,706	A	継続	今後とも、市民や事業者がグリーントラスト運動に関心を持つよう、普及啓発を図るとともに、より魅力ある事業について検討を行う。
	担当課	公園緑地課				1,642	1,617					
5	都市緑化の推進		市民	S60	出生・住宅新築記念樹贈呈事業樹木本数(本)	4,400	4,400	14,701	16,669	A	継続	活動指標については、おおむね目標を達成しているが、近年は横ばい傾向にある。民有地の緑化を推進するため、緑化誘導策など新たな都市緑化の施策や事業、仕組みづくりを検討する。
	担当課	公園緑地課				4,157	4,878					
6	宇都宮市花と緑のフェスティバルつのみや交付金		協議会	H14	来場者数(人)	5,500	5,500	3,000	3,000	A	継続	市民主体の都市緑化及び緑地保全を進めていくには、緑に関心を持つ市民を増やすことが必要である。より魅力ある事業内容を検討することによって、当イベントの来場者数の拡大や参加者の人的ネットワークの形成を図り、市民の緑に対する意識の向上に努めていく。
	担当課	公園緑地課				5,500	5,200					
7	宇都宮市花と緑のまちづくり推進協議会補助金		協議会	H13	普及啓発を目的とした研修会参加者数(人)	100	100	4,700	4,700	A	継続	市民主体の都市緑化活動を推進するため、市民が事業に参加しやすい環境を整えるとともに、協議会活動のPRを積極的に行うことによって会員数や研修会参加者数の増加を図り、市民の緑化意識の高揚を促進する。
	担当課	公園緑地課				61	72					
8	とちぎの元気な森づくり市町村交付金事業		市民・事業者・行政	H20	森林整備箇所(ha)	0	2.37	0	368	A	新規	今後も市内に残る森や緑などの貴重な自然環境や豊かな景観を保全していくため、土地所有者や管理団体からの理解・協力を求めながら、新たな都市緑地や民有地の緑についても当事業の導入を検討していく。
	担当課	公園緑地課				0	2.37					
9	緑の相談所の運営		市民・団体・事業者	S56	緑化講習会年間受講者数(人)	1,800	1,800	0	0	B	継続	市民の緑化活動の支援及び人材の育成の拠点として、市民の緑に関する多種多様なニーズに対応するため、講習内容や回数、相談所機能の充実を図るとともに、ホームページからの情報発信など一層の利用促進を図る。
	担当課	公園緑地課				2,099	2,071					
施策事業費合計								509,090	33,362			